

◆第22回災害ボランティア活動を、^{おうぜ} ^{みのう}星野村合瀬・耳納農道において実施。



(活動終了後、有志による記念撮影)

(撮影者：山口代表)

平成29年3月18日(土) 曇り日の中、筑後信用金庫信和会は、「農山村との絆プロジェクト」の一環として、第22回目の災害ボランティア活動(有志 5名うち女性 1名)を八女市星野村広内棚田入口付近の合瀬・耳納農道にて植栽活動を実施しました。活動仲間は、私たちと福岡市内の南片江校区青少年育成連合会の小中学生・引率者25名と一般参加者・地元住民及びスタッフなど約40名が、一緒に汗を流しました。

八女市星野村の広内・上原地区棚田は、1995年「日本の美しいむら写真コンテスト」で農林水産大臣賞を受賞し、1999年「日本の棚田百選」に指定されたところです。

今回の活動は、復旧工事で整地された広内棚田の入口付近の農道わきで、地域住民から「NPO 法人がんばりよるよ星野村」へ植栽の依頼があり、彼岸花の球根やミツバツツジ、ヨシノツツジ、サカキおよびブルーベリーの苗木を植栽しました。作業前に、作業中の安全を祈願しました。次に、植栽予定の整地された場所が、大小さまざまな石が混入していることから、潮干狩り用の熊手・スコップ・つるはし等を使用して撤去しながら、球根や苗木を植えました。作業中は、約4年前九州北部豪雨被災時の農地土砂撤去作業を思い出させるような疲労感を感じながらも、地元の方々や生徒さんと、作業の打合せや世間話を楽しみながら和やかに進みました。

昼食時の景観を楽しみながらのお弁当はとても美味しく、また地元ご婦人方からの星野茶の接待は、お茶の香り・色・味ともにおいしくいただきました。ごちそうさまでした。

※ 平成29年3月4日星野村とうきは市浮羽町を結ぶ合瀬耳納トンネル(2.6km)の貫通式が行われ、平成30年度に開通する見通しです。平成24年7月の九州北部豪雨被害から約4年7ヶ月経過し、徐々に活性化が進み、わずかでもそのお手伝いとなっていれば幸いです。

【参加者の活動風景】



(NPO 法人代表山口氏による説明)



(ラジオ体操)



(作業前の現場)



(住地域民代表挨拶)



(作業前の安全祈願)



(活動 ①)



(活動②)



(活動③)



(活動④)



(活動⑤ ヨシノツツジ)



(活動⑥ 彼岸花)



(活動⑦)



(活動⑧)



(活動⑨ ミツバツツジ)



(活動⑩ ブルーベリー)



(作業終了後の現場)

(以上撮影：坂田)

早朝からの作業、ほんとうにお疲れ様でした。
次回も、皆さんの参加をお待ちします。一緒に頑張りましょう。